



新しい日本の枠組み

令和6年6月3日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは日本が完全にアメリカの戦略に組み込まれたことである。ただ唯一全ての日本の政治家がCIAの元で自己を行ったとき、使い捨てにされた事実を付与するべきである。

これらは自由主義陣営における世界戦略とともに、完全にアメリカを補完する勢力として自己を与えられたことを意味するものである。

経済と軍事力において、来たるべき未来において、自治権の完全な放棄であり、これらは、戦後スキームの変更でなく、それを完全にしたことなのである。

これらは自国の判断でなく、アメリカの判断を行うことである。

これらは経済と軍における完全な隷属は、経済戦争における敗北の結果である。

これら基盤が新しい国家における全ての現実を与えることになるのである。

唯一国家はその独立と自立を価値とすることは正しく、上記現実がどのような結果を生むのかは理解できるものではない。

またこれらがアベノミクスという現実の結果であることは理解すべきである。

唯一考慮するとき、日本が世界のパワーゲームへ独自に参加することができなかったという理解すべきである。

これらは自国の国力が、それを実現するだけの現実を持たなかったからである。

来たるべき極東アジアにおける紛争などへの新しい国家の現実は、どのような未来を与えるのかは予測できるものではない。

唯一アメリカの思惑は、決して日本の利益でないことは理解すべきである。